

## ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

### 大学ディプロマポリシー

名古屋文理大学学士は、国内のみならず世界に対して、その学位を持つ人が名古屋文理大学を修了したことを証明するものですから、立学の精神に則った知識・技術と人間力を修得した人に与えられるものです。各学部学科に所定の期間在学し、学部学科の教育理念・教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位数を修得し、総合的な学修経験を積むことで創造的思考力を培い、人間力を高め、学士試験に合格することが学位授与の要件です。

### 健康生活学部ディプロマポリシー

21世紀の健康・生活の課題の多くは、生活のあり方やわれわれを取り巻く自然・社会・環境にその原因があると指摘されています。世界でも有数の長寿国となり、物・サービス・情報の豊かな社会の中にあって、人はなお一層「質の高い人生」を送るために、健康でありたいと願っています。

健康生活学部では、「食と栄養」を教育研究の基本にして、「栄養と健康」や「食とそれを取りまく生活・経済」を科学的・総合的に探究し、健康な人生をすごすための様々な課題に取り組み、解決することのできる人材を育てることをめざしています。このことは国民の健康維持を食と栄養の両面から担い、生活習慣病を減少させることでもあるのです。「食と栄養の殿堂」を旨とする本学部の教育を受け、各学科が定める卒業要件総単位数を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

### 健康生活学部健康栄養学科ディプロマポリシー

健康栄養学科は、人々の健康の維持・増進や、生活習慣病などの予防のための栄養学の幅広い知識と技術を修得させます。

1. 「生物と化学」「社会・環境と健康」「人体の構造・機能および病気の成り立ち」「食べ物と健康」「食品衛生」「調理」など、食べ物と栄養を理解するための基礎的知識と技術を身につけます。

2. 「基礎および応用栄養学」「栄養教育」「臨床栄養」「公衆栄養」「給食経営管理」「臨地実習」などの栄養に関する専門知識や応用技術を、講義、演習、実習などによって身につけます。

3. 国語、数学、英語など多くの基礎科目を修得し社会人としての基礎教育を身につけます。

これらのことから、病院、福祉施設、給食施設、食品業界、あるいは学校や官公庁など様々な社会の場で、人々の健康の維持・増進、病気の予防・治療を栄養と食事の両面から

担うために、栄養に関して科学的、実践的な能力を身につけた管理栄養士を養成します。また必要な知識・技術を身につけ、学科が定める卒業要件単位数を修得した学生に学士（栄養学）を授与します。

## 健康生活学部フードビジネス学科ディプロマポリシー

フードビジネス学科は「食」にかかわる生産から消費までの各分野について学び、将来、「食の安全・安心」を基盤にした豊かな食生活を支えるフードビジネスの世界（食品メーカー、食品流通業や外食産業など）で活躍できる人材となるように下記の学識・能力を深めます。

1. 「食」の生産から消費にいたる学理にもとづく専門的な知識を修得します。
2. 「食」の本質や食文化の理解、ホスピタリティの精神、マーケティングの知識を身につけます。
3. 調理、フードコーディネート、サービスをはじめとする実践的な技能とインターンシップや地域社会・企業との連携による実践力を身につけます。
4. 専門的知識を活かしたフードビジネスの基礎としての企画力、コミュニケーション能力および問題発見・分析・解決能力を身につけます。
5. 生活様式の変化にともなう食生活の変化に対応する、食の供給・流通方式の変革を旨とします。
6. 「食品メーカーコース」「食品流通コース」「フードサービスコース」に配当された専門科目を履修し、それにより社会における自らの役割を理解し、進路にふさわしい学識・教養を備えます。

これらの知識・能力を身につけ、卒業要件単位数を修得した学生に、学士（フードビジネス学）の学位を授与します。

## 情報メディア学部情報メディア学科ディプロマポリシー

情報の社会的・文化的機能に注目し、その作用と効果を多面的に捉え、高度情報化社会で不可欠な情報システムやネットワークに関する知識と技術を身につけ、情報活用能力、コミュニケーション能力、創作能力を磨き、社会で実践的な活動ができる人材を育成します。専門教育は「情報システム」「映像メディア」「サウンド制作」「メディアプランニング」の4つの専修コースを設定し、それぞれの学修内容を深めて専門的な技術を修得すると共に、他のコースなどの学修も十分に行い、複合スキルを身につけます。また、以下に挙げる基礎学力・社会人基礎力を養成し、人間力を高めます。

1. 基礎学力の養成：あらゆる学びの根幹をなす基礎学力の修得を支援し、学びの質を高めます。
2. 社会人基礎力の養成：グループ活動を企画・体験し、主体性、コミュニケーション力、協調性を養成します。

これらの知識・能力を身につけ、卒業要件単位数を修得した学生に、学士（情報メディア学）の学位を授与します。

専修コースで学ぶ内容は以下のとおりです。

(1) 情報システムコース

社会を動かす情報技術者を育成します。モバイルアプリやゲームなどユーザ向けシステムのほか、様々な仕事や社会インフラのための情報システムを開発・運用管理できる高度なシステムエンジニアや、情報システムの企画提案ができる情報ストラテジストを養成します。情報科学の知識をベースに、プログラミングやシステム開発の手法、ネットワークやデータベース、情報セキュリティやシステム運用管理などの知識や技術を身につけます。

(2) 映像メディアコース

映像制作を中心として、アニメーション、CG、放送制作などを学びます。映像や静止画像に対する芸術的感性と、作品を構成するための企画力を活かし、ショートムービーや放送番組などの映像作品を制作します。色彩についての基礎知識を身につけるほか、プログラミング技術なども併せて修得し、幅広い分野で活躍することのできるビジュアル・スペシャリストを養成します。

(3) サウンド制作コース

音響技術・楽曲制作を中心として、サウンド制作に関するさまざまな知識と技術を学びます。音・音楽に対する繊細な感性や各種機材を扱うことのできる素養、また、音楽についての基礎的能力を活かして、MIDI 技術やレコーディング技術を用いた音楽・音作品を制作し、音響機器の操作や音響のセッティングについて習熟します。舞台や放送で活躍できる音響技術者、サウンドクリエイター、音源開発エンジニアなど、サウンド関連のスペシャリストを養成します。

(4) メディアプランニングコース

ウェブを利用したマーケティングが一般化する現代において、旧来のマーケティングやメディアの世界と新しいテクノロジーの橋渡しができる人材の重要性が高まっています。本コースでは、従来のマスメディアを中心としたコミュニケーション手法に加えて、ウェブ上でのプロモーション手法やデータ解析を学びます。マーケティングセンスや企画・演出力を身につけた、メディアリテラシーの高いビジネスパーソンを育成します。